



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2023 **2**



1月7日、兵庫県民会館において「第18回 新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催しました。セミナーでは、「社会変化と協同組合に求められること」と題して、日本協同組合連携機構常務理事 伊藤 治郎 様に講演いただきました。
(関連ページP3)





子ども食堂に寄贈予定のタマネギの苗を植えました

協同、そして連携

兵庫県農業協同組合中央会
常務理事

小寺 収 (こてら・おさむ)

20XX年に施行された「協同組合の連携を促進し支援する法律」(協同組合連携法)にもとづく実行計画第1号が認定されました。計画を策定・申請したのは兵庫県協同組合連携機構(旧・兵庫県協同組合連絡協議会Ⅱ兵庫JCC)で、計画名は「兵庫の食・県産県消推進実行計画」とされています。この計画の達成のために必要な施設の設定、運営にかかる経費は国の交付金によって賄うことができます。

兵庫県の食料自給率は15%ですが、この計画が達成できれば、10年後、30%を超えることが可能です。そのために、対象の県産物が、どれだけの量、どれくらいのコストで作られて、いくらの価格で販売し、購入することができるか、という需要と供給およびその間の流通に関するあらゆる情報を生産者と消費者が共有できる県産県消情報システムを整備します。

これには農林水産物の増産が必要になりますが、気候など自然の影響を受けやすく、需要に完全に合わせた生産は難しいため、豊作時には一時的に貯蔵し、足りない時に出荷できる保管施設を整備します。もちろん貯蔵・保管に関する情報も、県産県消情報システムでリアルタイムに確認できます。物流もこ

のシステムを活用することで、無駄の少ない配送が可能になります。食品ロスは、かつての3分の1に削減できそうです。「協同組合連携法」が対象としている事業は、食の課題だけではなく、高齢者福祉、子育て支援、環境保全など、国連が2030年を目標とした「SDGs(持続可能な開発目標)」の169ターゲットに関連付けて計画を策定することになっています。地球温暖化や戦争など世界で起きている深刻な問題は、解決できる目途が立っておらず、多くの国民が危機感と不安を募らせる中で、協同組合の思想と実践の仕組みを再認識したことが、この法律の背景にあります。

なお、実施主体が協同組合にされたのは、株式会社のように利益が特定の株主に帰属しないからです。また、実行計画の審査は、政府関係者や専門家だけでなく、申請した協同組合以外の国民が関わり、実施状況を評価することになっています。そして協同組合連携のモデルとして、実施内容は全てオープンにされる半面、必要な財政措置が担保される仕組みです。

◆
できるだけ早く、こんな法律があつてほしいと願っています。まだまだ、協同組合ができることがあ
る。そして、協同組合連携でさらに力強
くなれる。2030年は、すぐそこです。

CONTENTS

- | | |
|-----------------------|--|
| 2. 想点 | 5. 兵庫県のページ/ヨッシーの窓 |
| 3. 新春トップセミナー・賀詞交換会 報告 | 6. 2022年度ひょうご消費者セミナー ご案内/
県連行事予定/編集後記 |
| 4. 協同組合のかけ橋 | |

第18回

「新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催

1月7日、兵庫県民会館において、第18回目となる「新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催しました。兵庫県の消費者行政の皆様や、兵庫県農業協同組合中央会、共栄火災海上保険株式会社、会員生協・団体の役員と職員、合わせて33人の方々にご参加いただき、新年の決意を新たにする機会となりました。

新春トップセミナーでは、岩山 利久 会長理事の開会挨拶に続き、兵庫県 県民生活部長 城 友美子 様からご挨拶いただきました。その後、日本協同組合連携機構 常務理事 伊藤 治郎 様から「社会変化と協同組合に求められること」と題して講演いただきました。

伊藤常務は講演で、日本協同組合連携機構（JCA）の役割について話され、今後2024年に向け国際協同組合同盟（ICA）の「協同組合のアイデンティティの見直し」の協議が行われること、今後の協同組合の向かうべき方向の一つとして、より実践的な相互連携による持続可能で活力のある地域社会の実現に貢献することについて、事例紹介も含め話されました。協同組合間連携での、生協が果たすべき役割や可能性について考える機会になりました。

その後開催された賀詞交換会には、兵庫県の消費者行政の方にもご参加いただきました。岩山 利久 会長理事の挨拶に続き、ご来賓を代表して兵庫県民生活部生活安全課 課長 立石 裕一 様によるご挨拶と乾杯のご発声で和やかに会がスタート。日頃からご指導いただいている行政の方と会員生協・団体、友誼団体の皆さま、それぞれに交流を深めました。



城 友美子 県民生活部長



岩山 利久 会長理事



講師 伊藤 治郎 氏



賀詞交換会風景



県民生活部生活安全課
立石 裕一 課長

JF 明石市漁業組合連合会

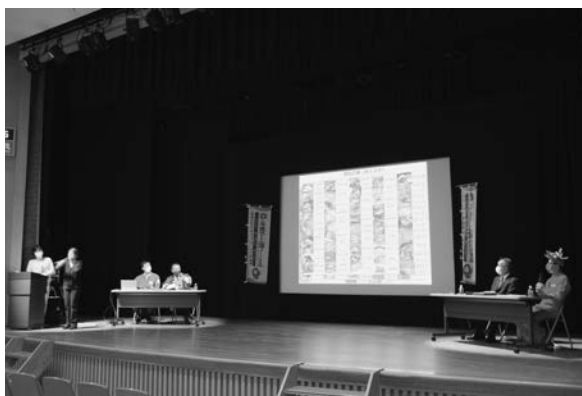
豊かな海ってどんな海?? ～パネルディスカッション開催～

10月19日(水)、子午線ホール(アスパア明石9階)で「豊かな海ってどんな海??」をテーマに、明石市漁業組合連合会 戎本裕明副会長、明石おさかな普及協議会 川崎喜昭会長、JF兵庫漁連 指導部 樋口和宏課長、あかし玉子焼ひろめ隊 古志利宗隊長のパネラー4名で、傍聴者75名を前にパネルディスカッションが行われました。

1時間半にわたり行われたディスカッションの中で、戎本副会長から、漁獲量の抑制や水質改善に取り組んだにも関わらず、ノリの色落ちや痩せたイカナゴを目の当たりにし、漁獲量が減少していることに対し疑問を持った。有識者から話を聞くなかで、海に栄養が無いと耳にするようになり、当時は「海に栄養」という概念が無かったと話されました。

樋口課長から、食物連鎖で下位に位置する植物プランクトンが吸収する栄養塩の不足が漁獲量低下に繋がっていることが話されました。締めくくりとして、豊かな海とは ①生物の多様性 ②生産性の高い海(色んな生物がいて、沢山湧く海) ③海ゴミ(プラゴミ)のない海 が豊かな海だと説明がありました。

最後に戎本副会長から、漁業者の取り組みである、海底耕耘やかいほり、下水道関係者に栄養塩の管理運転を依頼するなど、漁師の取り組みを漁師が外にどう伝えるのが課題であると話され、伝える手段のひとつとして「海底耕耘」のPR動画が紹介されました。漁業関係者からのお願いとして、地元の魚を食べてもらう事や、今回話した海の現状をいろんな人に伝えて、自分たちに何ができるのか考えてほしい、と傍聴者に伝えました。



JA 兵庫西

生産者の所得向上と若手生産者の の支援に取り組む

株式会社播磨ライフの苗村武大さんは、たつの市で、瀬戸内式の温暖な気候と粘土質の土壌という特性を活かしたニンニク栽培を行っています。

認定新規就農者の苗村さんは5年前に就農し、現在は1.2haの面積で10aあたり500kgの収穫を目標に栽培しています。ニンニクは9月中旬に植付けし、5月下旬から6月上旬の2週間にすべて収穫する必要があります。そこで苗村さんは、新たにニンニク専用の大きな冷蔵庫を導入し、芽と茎を切りとり乾燥させたニンニクを冷蔵保存することで、1年中供給することを可能とさせました。

また、繁忙期には市内の福祉事業所の利用者に協力を求め、ニンニクの植付け、収穫作業を行ってもらうなど農福連携にも取り組んでいます。

JA兵庫西揖龍営農生活センターの藤尾充保さんは、営農指導員として、植付けや施肥など農業全般に関する営農指導や、ニンニクに付加価値を付けて販売し高収益化を図るための加工品の提案やアドバイスをしています。さらに、故障した機械のトラブル対応や代替機械の提案・情報提供を行っています。

また、同JAはJA青壮年部「青空会」に加盟している若手生産者同士が意見交換を行う場を設け、ネットワークを構築することで、より良い農業経営を実現できるよう支援しています。今後も、生産者の所得向上、若手生産者の持続可能な農業に向け支援を行います。



ニンニクの生育状況について話す苗村さん(左)と藤尾さん



「オンライン講座」 参加者募集中！

参加無料

～イマドキの「通販」事情は？～

おもしろデータから見る通信販売

巣ごもりで利用が増える「通信販売」。様々なデータを深掘りすると、今のトレンドだけでなく、県民性までもが明らかに！ただし、上手に利用しないとトラブルが生じることも……。イマドキの通販事情を知って、かしこい消費者になりましょう！

2023年

2月17日(金)
14:00 ~ 15:30

申込者限定
見逃し配信

2月17日(金) 17時
～19日(日) 24時



公益社団法人 日本通信販売協会 田邊 薫氏
Tanabe Kaoru



公益社団法人 日本通信販売協会 萩原 典明氏
Hagiwara Noriaki

対象

兵庫県在住・在勤・在学の方
定員200名

申込み

右のQRコードからお申込みください
Zoom ウェビナー招待メールが届きます。当日、参加リンク部分を
クリックしてご参加ください
・申込後、数時間たっても招待メールが届かない場合は、下記までお電話で
お問い合わせください
・いただきました個人情報は、当講座の運営管理にのみ利用いたします



お問合せ

兵庫県立消費生活総合センター消費生活情報プラザ
(〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-2)
TEL:078-302-4001 (平日10時～17時)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

私、兵庫県生活協同組合連合会様主催の「若者の消費者被害をみんなで防ぐ！『笑って学ぼう新成人の消費者トラブル』」にて、消費者トラブルの実例、どうしてトラブルに遭ってしまうのか、などをお話させていただきました。こちらの企画は桂吉弥さん、桂弥っさんの落語とセットでして、落語も楽しむことができました。最後は、桂吉弥さんとお話のよう形でまとめのお話もさせていただきました。会場の皆様からもご意見などいただいて、まさに笑って学ぶ会になりました。ありがとうございました。

さて、ひょうご消費者ネットでも啓発活動を行っていきまして、12月は、講師に消費生活相談員の久保保子氏をお迎えして「成年年齢引き下げ後のトラブル～相談現場からの報告～」という学習会を開催しました。その中で、特に私が「そうなんだ！」と感じたことをお伝えしたいと思います。久保先生は「知らない人に、自分の個人情報や大切な情報、例えばクレジットカード番号、携帯電話番号、暗証番号などを教えないで」と啓発することは、SNS が浸透している社会において「難しい」とおっしゃっていました。これはどういう意味なのか、次回でお話したいと思います。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)

ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com



ひょうご消費者セミナー2022年

身に つけたい! 広告を見るチカラ

講師:公益社団法人日本広告審査機構 (JARO)
関西事務所 武田 典子氏

今だけ

お試し
価格

必ず
儲かる



開催日時

2023.3.9 14:00~15:30

オンライン開催

●参加費:無料

●定員:150名

●申込方法:氏名、電話番号、メールアドレスを添えてメールまたはFAXで
以下に記載の申込先までご連絡ください。

※申込者には開催前日までに、ZoomのURLをメールにて送信し
ます。当日はそちらにアクセスしてご視聴ください。

●申込締め切り:3月7日(火)まで

●主催:NPO法人ひょうご消費者ネット/生活協同組合コープこうべ
NPO法人消費者支援機構関西(KC's)
兵庫県生活協同組合連合会

●お問合せ:兵庫県生活協同組合連合会
(申込み) FAX 078-392-2059
メール hyogo@kobe.coop.or.jp

QRコード®からも
お申込みいただけます



編集後記

この編集後記を書いている日の朝はいつもの見慣れた街並みが一面雪景色でした。電車の運転見合わせなど外出には支障がありました。雪遊びをしてはしゃいでいる子供たちを見かけると微笑ましくなりました。穏やかな日常は大切ですね。

1月7日の新春トップセミナーで地域課題を解決する協同組合間連携の事例をお聞きしました。「安心して暮らし続けられる地域社会」を築き上げていくため、行政や諸団体とのネットワークをより豊かなものにしながら、地域に根差した助け合いの組織としての生協・協同組合が果たすべき役割はますます重要だと感じた一年のスタートでした。皆さまはどんな一年の始まりでしたか?

〈吉本〉

県連行事予定

- 2月2日(木) 兵協連 ひょうごまるごと健康
チャレンジ2022実行委員会
(オンライン)
- 2月6日(月) 兵協連 第5回 理事会
(県民会館 鶴)
- 2月10日(金) 兵協連 第13回労働安全衛生
研修・学習会 (オンライン)
- 2月14日(火) 兵協連 第4回生活問題研究会
(県民会館 1102)
- 2月16日(木) 兵協連 第3回共済生協部会
(県民会館 302)
- 2月17日(金) 兵協連 初級経理学校
(オンライン)
- 2月21日(火) 兵協連 ピースアクション
実行委員会(県民会館 901)